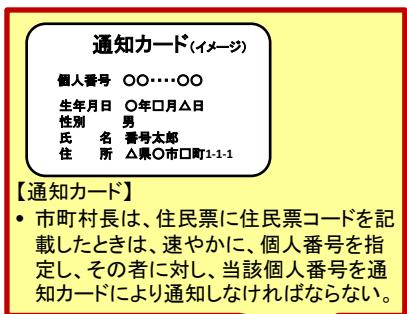


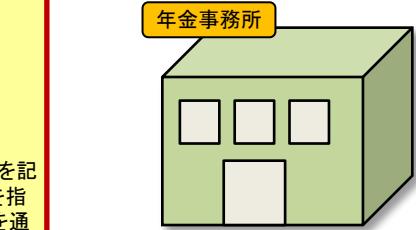
個人番号の利用例について

※現時点で想定されているものであり、今後の検討過程において変更があり得るものである。

誕生

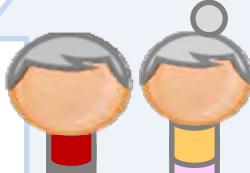


個人番号を通知



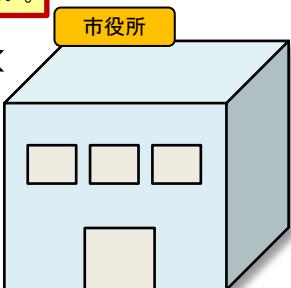
住民票、課税証明書の添付を省略可能。

厚生年金の裁定請求の際に番号を提示
1234



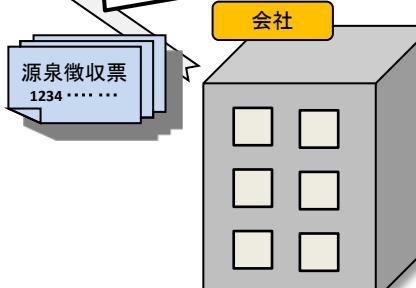
退職

退職前に加入していた健康保険の被保険者資格喪失証明書の添付を省略可能。

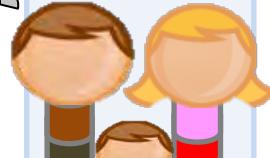


国民健康保険加入手続きの際に番号を提示
1234

従業員やその扶養家族の番号を源泉徴収票に記載し、市役所や税務署に提出



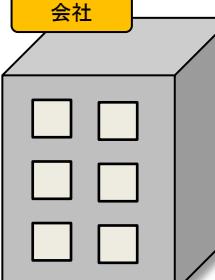
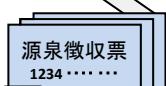
児童手当の現況届（毎年6月）の際に番号を提示
1234



年金手帳や健康保険証の添付を省略可能。

子育て

扶養家族の番号を会社に提示
5555



奨学金の申請の際に番号を提示
1234

アルバイト先や会社に番号を提示
1234

国民年金の第3号被保険者の認定、健康保険の被扶養者認定の手続きの際に、課税証明書の添付を省略可能。
9876



住民票や保護者等の課税証明書の添付を省略可能。